



アーバンデータチャレンジ 2017

『データビジュアライズマッピング in Otsu』の開催

事業区分 「行政・住民サービス」

実施時期 平成 29 年 8 月、9 月

概要

オープンデータの推進に向けた取組みを進める中で、市が保有する様々な行政データを二次利用可能な形式で広く公開するための環境を整備するとともに、公開データの利活用の促進を図ることを目的に、オープンデータ活用推進イベントとして 2015 年、2016 年に引き続き「アイデア提案イベント」「まち歩き&マッピングイベント」を開催。

- ① 一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会（AIGID）が主催するアーバンデータチャレンジ 2017 に滋賀地域拠点ブロックとして大津市主催にてイベントを開催。
- ② アーバンデータチャレンジ滋賀ブロックとして 3 年目の今年は、大津駅前を盛り上げることをメインテーマに、大津市長が提案している「ジュネーブ構想&宿場町構想」をベースに「データビジュアライズマッピング in Otsu - 大津の〇年後をビジュアライズ - 」というタイトルでワークショップを 8・9 月に開催。
- ③ 8 月のアイデア提案イベントでは、提供したオープンデータや資料等をもとに、6 グループに分かれて大津駅前エリア活性化のアイデアを考えていただいた。また、各グループでアイデアに基づく市民アンケートを考えていただき、イベント後実際にウェブ上で回答を募集した。
- ④ 9 月のまち歩き&マッピングイベントでは、実際に大津駅前エリアをガイド付きで歩き、そこで得られた情報と 8 月のイベントで考えたアイデア、オープンデータ等をもとにマッピングツール「Mappin' Drop」を使って、地図上にデータやアイデアのビジュアライズを体験していただいた。

イメージ図

アイデア提案イベント



イベントチラシ



考えたアイデアを地図上などにまとめ、発表

まち歩き&マッピングイベント



マッピングツール「Mappin' Drop」を使った
データビジュアライズの様子

効果・成果

オープンデータや資料等だけでなく、実際にまちを歩き、そのエリアに詳しいガイドからの説明を受け、貴重な情報を得ることができた。さらに、その情報とオープンデータ等を組み合わせ、マッピングツールによりアイデアを可視化（ビジュアライズ）する体験について、参加者から好評をいただいた。地域の問題やその解決策等を分かりやすく、見た人の興味を惹くものにするためのツールとして、誰でもが簡単にゲーム感覚で扱えるマッピングツールの新たな可能性を感じることができた。

担当部署

大津市政策調整部情報システム課（滋賀県大津市御陵町 3-1）担当者：楠 有矢

Tel : 077-528-2713 e-mail : otsu1218@city.otsu.lg.jp URL : <http://www.city.otsu.lg.jp/>